

第2期（平成30年度～令和2年度）第4回日進市地域包括ケア検討会議 議事録

日 時	令和2年12月24日（木） 午後2時から午後3時15分まで
場 所	日進市保健センター 西館会議室
出 席 者	宮川 浩一（副会長）、中井 英貴、長谷川 清、神野建三、長谷川 純、伴 律子、加藤 知恵美、横山 英治、齋藤 寛子、住田 敦子、村井 良則、富岡 亜希子
欠 席 者	五十里 明（会長）、横井 裕子、伊東 幸仁、山田 幹雄、鈴木 康元
事 務 局	川本 賀津三（健康福祉部担当部長）、加藤 誠（健康福祉部次長兼地域福祉課長）、三好 恵太（介護福祉課課長補佐）、牟田 貴子（地域福祉課課長補佐）、野村 圭一（地域福祉課地域支援係長）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（2名）
次 第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 第8期介護保険事業計画（案）について 4 閉 会
配 布 資 料	次第 第8期にしん高齢者ゆめプラン（案）（令和2年12月21日時点のもの） 資料1 第8期にしん高齢者ゆめプラン（案）のポイント 資料2 （第4章IV以降）第8期高齢者ゆめプラン（案） 資料3 第8期にしん高齢者ゆめプラン策定スケジュール 資料4 第8期にしん高齢者ゆめプラン案のパブリックコメントの募集について

発 言 者	内 容
	1 開会
	2 傍聴人案内・入場
	3 議題
副 会 長	本日の進行を務めさせていただき宮川です。よろしくお願ひします。
副 会 長	議題（1）「第8期介護保険事業計画（案）について」に事務局から説明をお願いします。
事 務 局	（資料1に基づき説明）
副 会 長	事務局からの説明について、ご質問やご意見はありますでしょうか

発 言 者	内 容
	か。
委 員	資料5ページの町別人口比率の地図と、10・11ページの世帯割合の地図を比べると、人口比率のほうは米野木町と米野木台に分かれています。データが正確に取れないということでしょうか。
事 務 局	資料5ページは、出典にあるとおり、2020年9月末時点の住民基本台帳から出しており、米野木町と米野木台で住所が分かれていますので別で表記ができていますが、10ページにつきましては、2015年の国勢調査を出典としており、おそらくこのときは住所が分かっていたので、このような表記になっております。
委 員	分かりました。次に、16ページのIADLが低い高齢者の割合について、出典にある5つの問から点数を出していますが、「バスや電車を使って一人で外出していますか」「自分で食品・日用品の買物をしていますか」の2つの問と、下3つの問では違いがあるのではないのでしょうか。上2つは、最近だと交通の便が悪かったり、地域に商業施設が減っていることで外出ができなくなっているという要素もあるのではと思います。
事 務 局	一つ目の問は、こちらの意図としましては、身体的影響も含まれますが、外出する意欲が低下していないかを見ています。回答者が、身体的心理的なのか、あるいは物理的影響で回答しているのかの区別ができないのでこのような表記になっています。
委 員	分かりました。
委 員	<p>まず1点質問ですが、26ページのサービス別給付費の評価について、地域密着型通所介護が対計画比80%未満であり、地域密着型サービスの実績が低くなっているとあります。先ほど、地域密着型サービスの体制整備を進めていくと説明もありましたが、現時点で把握していることがあれば教えてください。</p> <p>2つ目に、30ページの各種事業の取組状況と課題として、担い手としての社会参加推進とあり、生活支援コーディネーターによる協議体の開催など、社協を中心に社会参加推進の枠組みを作り、いろいろな取組みをされていることと思います。同じく、34ページの生活支援体制の拡充ということで、地域資源を活用した多様なサービスの創設としていくつか書かれていますが、このような社会参加推進の枠組みを作って、地域の中の様々な課題、例えば日進だと高齢者の交通の問題などが課題に挙げられていて、協議体の中から新たな社会資源を創出してきたということがあると思います。それによって、例えば、住民主体の高齢者移動支援の取組みを進めましたということが、社会参加推進の枠組みを作って成果に結びついていると、評価として見え</p>

発 言 者	内 容
	<p>る形になるとよいと思います。枠組みを作って、話し合いを重ね、社会資源を創出し、地域課題の解決につながったと、日進の取組みは評価に値するものがあると思うので、それをしっかり示す機会でもあると思います。今後の包括的支援体制整備の中でも、社会参加促進が挙げられており、これを見据えた取り組みだと思いました。</p> <p>最後に、81ページの地域包括支援センターの機能や体制の強化に、人員体制の確保とありますが、地域包括ケアシステムや今後の包括的支援体制整備についても、入口の相談というのはとても重要だと思います。最初に相談に行き、うまく聞いてもらえなかったとか、相談疲れになってしまったという話も聞きます。出口の支援も大事ですが、入口の支援はとても重要だと思います。今の包括は専門性高く人員配置がされていますが、その中でも相談体制の専門性の向上のために研修を受けたり、また、先日、他市の障害者基本計画の策定委員会に出席した際に、市役所の職員全員が必ず年に何回か研修を受けるとお聞きしました。最初の相談が市役所の窓口であり、市役所の職員も相談支援に関わってくると思うので、しっかり取り組んでほしいと思います。</p>
事 務 局	<p>地域密着型サービスについて、認知症デイと地域密着型デイが平成30年度と令和元年度の2ヵ年でこれぐらいは利用が伸びるだろうと、平成30年度より前から伸びてきた数をそのまま計画にしましたが、実際のところは伸びなかったというところですが、特に認知症デイは平成29年に施設を増やして整備されたので、利用が伸びるだろうと見込んで計画を立てましたが、そこまで伸びなかったという現状です。また、小規模多機能の利用が計画していたものより伸び悩み、有効的な活用方法を考え、今後に生かしていきたいと考えております。市内の地域密着型サービスを充実させ、8期に生かして参ります。</p>
委 員	<p>15ページの認知症リスク高齢者の割合で、西部地区で49.3%と割合が高くなっているとあります。西部地区は後期高齢者も他地区より比較的少ないですが、何か理由などあれば教えていただきたいです。</p>
事 務 局	<p>なぜ西部地区が高いのかという理由をこの場でお出しすることはできないですが、ニーズ調査の回答を細かく見ていくと分析できるものがあると思うので、次からのアンケート調査に生かしていきます。</p>
委 員	<p>ありがとうございます。</p>
委 員	<p>33ページの避難行動要支援者支援の推進について、避難行動要支援者名簿と、私たちが使っている災害時要援護者名簿は違うものでしょうか。</p>
事 務 局	<p>避難行動要支援者は法律の中で使われている言葉で、日進では災害</p>

発 言 者	内 容
	時要援護者と言っていますが、同じものです。
委 員	72ページに専門職を活用した健康づくりとあって、参加者についてお聞きしますが、これは対象者全てに通知して希望した方に参加してもらっているのか、ある程度参加者を選択しているものでしょうか。
事 務 局	足腰おたっしゃクラブと健口健食べんきクラブは、総合事業の中のサービスに位置付けているので、対象は事業対象者あるいは要支援認定を受けた人の中から、包括支援センターがこの人にはこのサービスが必要とプランを立ててサービスを利用いただきます。対象者皆さんにご案内しているものではないです。一方で、ゆうゆう体操教室などの一般介護予防事業については、65歳以上の高齢者の方であればどなたでも参加いただける事業です。
委 員	介護予防でも幅広い事をされていますが、高齢者のどれくらいをフォローできているのでしょうか。そこから漏れている人がいるなら、その人たちに対して支援をしていかないと介護予防につながっていかないと思います。
事 務 局	<p>65歳以上の高齢者はだいたい1万9千人いらっしゃって、その中で要介護・要支援の認定を受けている人がだいたい合わせて3千人ほどいらっしゃいます。認定を受けていない人で、サービスを必要としない元気な高齢者もいれば、教室などに通って要介護状態になるのを遅らせるべき高齢者もいて状態が様々です。これから気を付けていただきたい人に介護予防事業の案内を送れば、より効果が出るのではと思っていますが、今は一律での案内になっているので、必要な人全てに案内が行き届いていなかったり、フォローしきれていないことが課題であります。</p> <p>先ほど、保健事業と介護予防事業の一体的実施の話もありましたが、健診データを用いて、必要な人に重点的に案内することで、フォローできるのではないかと考えています。</p>
委 員	ありがとうございます。地域でサロンなどを行っていますが、なるべく初めての人にも声をかけて誘うようにしています。できるだけ幅広く参加いただくことで効果があると期待しています。
委 員	日進は地域差があって、老人クラブでも高齢者のほとんどが加入しているところもあれば、地域によってはまだ自分には必要ないと言われていたり、70歳までは働くんだけと言われ、なかなか入っていただけないところもあります。ただ、老人クラブを通じて、いろいろな施策を地域の高齢者に理解していただくようなPRをすることで、十分に理解いただいています。これまでは元気な高齢者が集まって、旅行したり運動したりしていましたが、コロナ禍でそういった活動ができなく

発 言 者	内 容
	<p>なった一方で、友愛活動を通して困っている高齢者がいたら、近所同士で助け合ったり、行政や民生委員も入って支援することにも意義があると思います。</p> <p>一つ、要望としましては、老人クラブの活動のメニューを増やしたいと考えていて、健康や福祉関係のメニューを取り入れて、ぜひ講座を何回もやれるよう配慮いただいたり、専門職の方の派遣にご協力いただけるとありがたいです。</p>
委 員	<p>100ページの介護老人福祉施設について、4月1日時点で待機が8名で、年々減少傾向にあり、新たな整備が必要な状況ではないとありますが、実感としては違って、特別養護老人ホームに入れないからずっと待っていると聞くことが多いです。本当に困っている人が特養に入れているのかを見ていただきたいのと、要介護1・2方は保険者が認めないと入所できず、認められない方が多いので、本当に困っている方の特別養護老人ホームへの入所を検討いただきたいです。</p>
副 会 長	<p>様々のご意見、ありがとうございました。</p> <p>事務局におかれましては委員の皆様からの意見を十分に考慮して計画（案）への反映をよろしく願いいたします。</p>
副 会 長	<p>以上で、本日の議事は終了となります。それでは、「その他」について、事務局からありますでしょうか。</p>
事 務 局	<p>（今後の予定、パブリックコメントの実施について説明）</p>
副 会 長	<p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして第4回日進市地域包括ケア検討会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。</p>
	<p>4 閉会</p>